

新築住宅
部門

優秀賞

藤森 雅彦

藤森雅彦建築設計事務所

【作品名】CHRONOS DWELL

設 計 藤森雅彦建築設計事務所

施 工 積和建設中国 株式会社

竣 工 日 2018年9月30日

◎建物概要

建 設 地 広島県広島市 延床面積 1092.07m²
敷 地 面 積 1552.4m² 構造・規 模 木造・地上2階建

◎設備面の特記

厨 房 機 器	ガスコンロ
給 湯 機 器	ガス給湯器
冷暖房機器	エアコン



写真撮影／小川 重雄

平面図



設計コンセプト

広島市の北部に位置する敷地。かつては住宅地に農地が多く点在していたが、徐々にその数は減り、市街地へのアクセスや周辺環境のよさから子育て世帯の増加に伴い、人口の高密度化が進むと予想されるエリアである。

計画地は農地を全15戸の賃貸アパートとして転用したもので、容積率160%・建蔽率60%の敷地に対し、それぞれ70%・45%前後の密度に抑え、余地が入居者の生活に寄与し、賃貸アパートとしての付加価値を生み出す計画とした。

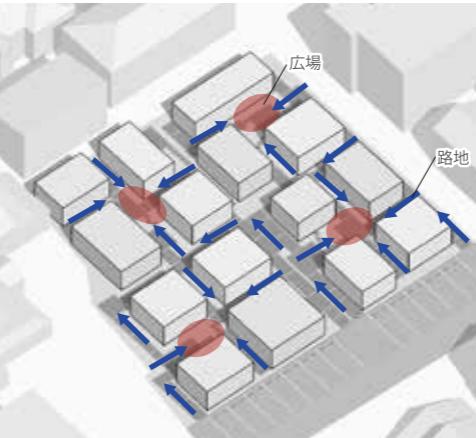
まず、全15戸を4つのコミュニティ単位に分割し、接地面では各住戸が“広場”に面し、それを“路地”でつなぐようボリュームを配置した。次に、2階のボリュームは接地面とはずらしながら配置していく、ずれによって生じた部分を各住戸の専有テラスとして利用している。住戸間の視線の交錯は一部住戸の階高

の調整や植栽の配置などにより軽減しており、調整によって生まれた室内スペースをロフトとし、入居者にとって利用価値の高い空間となっている。間取りの異なる各住戸でメゾネット形式を採用することで戸建て住宅のような独立性の高い長屋を実現し、全住戸で4面採光・通風を確保している。また、外壁はガルバリウム鋼板素地、一文字葺きとした。時間や天候によって様々な表情を写し出し、この場所にしかない固有の新たな風景と空間を生み出している。

“広場”と“路地”というこれまでにあった空間手法を用いながらも、内外に多様な場が生まれる計画により、住戸同士の新たな関係性を試みるだけではなく、住まいとしての根幹である居住性・快適性を獲得し、これまでにない空間体験を生み出している。

審査委員講評

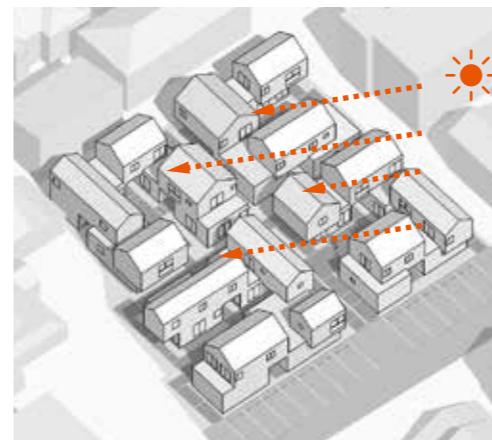
コミュニティとプライバシー、変化と統一、独立性と連続性等、低層集合住宅に求められる、様々な相反する概念を重層長屋の形式と広場と路地の建築手法で丹念につくり上げた作品。個を優先すれば群が犠牲になり、群を優先すれば個が犠牲になりがちですが、抜群のバランス感覚と丹念な検討、つくりこみで両方の成立に成功しています。



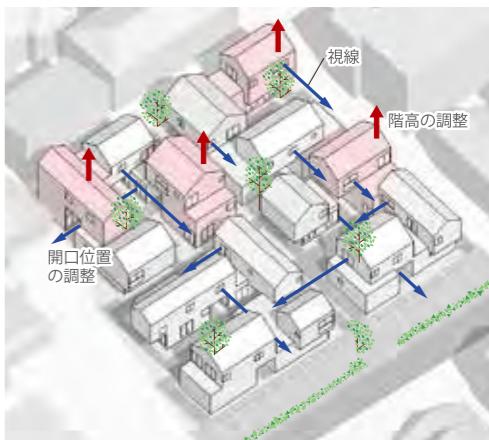
①ボリュームを周囲の2階建の建物より少し小さくし、住宅群となった際の圧迫感を軽減。



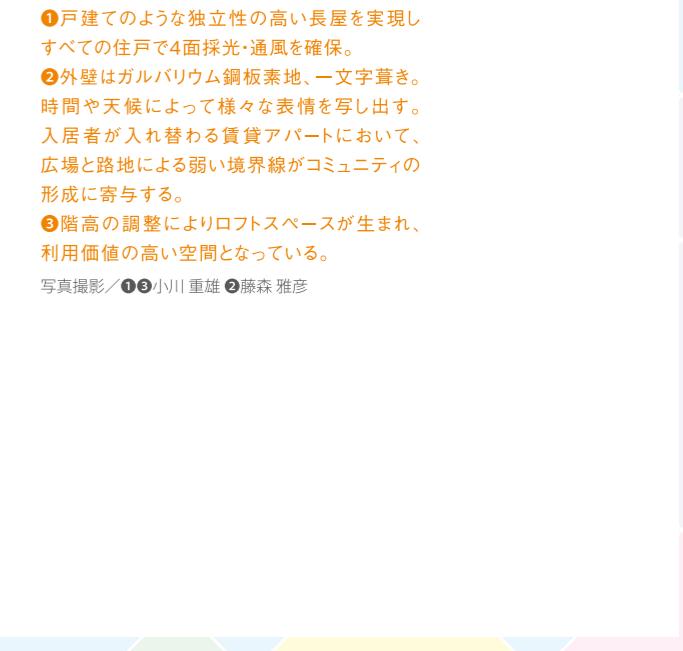
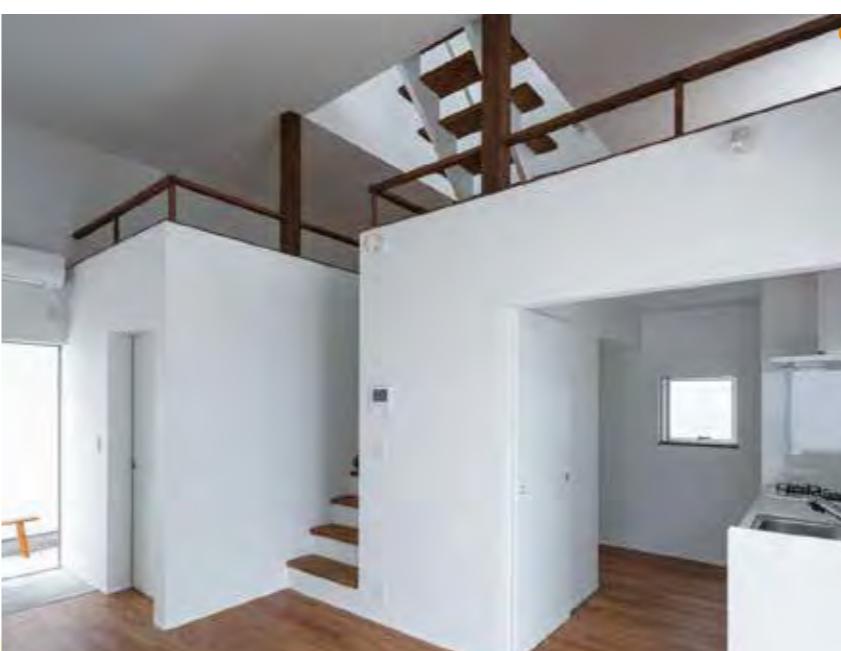
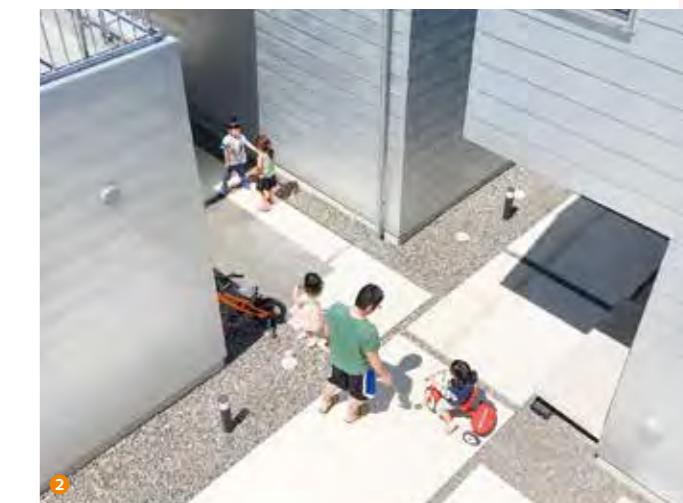
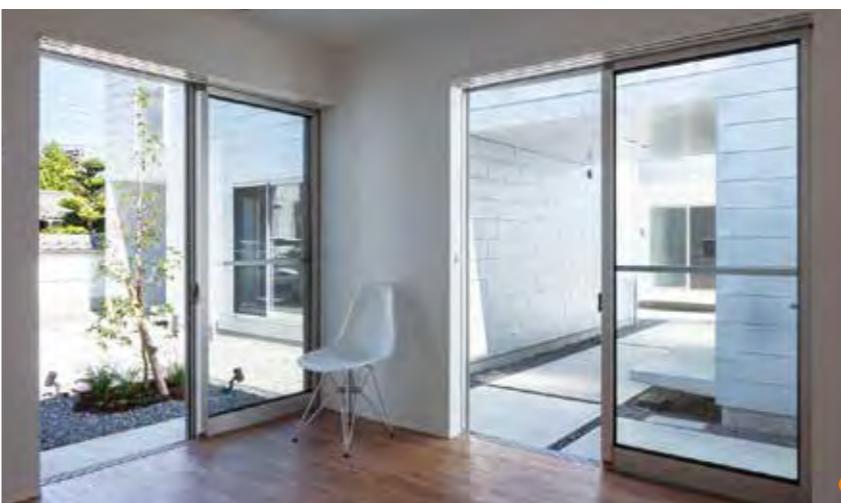
②1階とはずらしながら2階のボリュームを配置し、通風を確保。



③街並みとの調和と採光のために2階のボリュームを切妻状の屋根に切り取る。



④一部住戸の階高、開口位置の調整、また植栽により視線の抜けをコントロール。



①戸建てのような独立性の高い長屋を実現しすべての住戸で4面採光・通風を確保。

②外壁はガルバリウム鋼板素地、一文字葺き。時間や天候によって様々な表情を写し出す。入居者が入れ替わる賃貸アパートにおいて、広場と路地による弱い境界線がコミュニティの形成に寄与する。

③階高の調整によりロフトスペースが生まれ、利用価値の高い空間となっている。

写真撮影／①③小川 重雄 ②藤森 雅彦